

# 生きている音楽教育——コダーイ・システム



加勢 り子

ハンガリーの大作曲家コダーイ・ゾルターン (Kodály Zoltán 1883~1967) の音楽教育理念が、現実に具現化されて、 $\langle$ コダーイ・システム $\rangle$ の名のもとに世界中の注目を集めるようになったのは、まだこの十年余の間のことです。

$\langle$ 専門の音楽家を育てるばかりでなく、すぐれた聴衆をも育て、人類共通の幸福のために、ひろく、音楽の価値を世にしらせよう $\rangle$ との目標のもとにある、この音楽教育システムは、現時点の私たちの音楽教育界にとって、もつとも興味ある、また参考になるものの一つであるといえるでしょう。

コダーイは、真の芸術とそうでないものとのけじめをき

びしく考えていました。そして、これを知るためには、内的聴感を育成して、本当の音楽性を身につけなければならぬし、そのためには、まず、たう、ことからはじめて（ソルフージュとは、元来歌唱練習という意味である）真の内的なき、能力を作らなければならない、と考えていました。また、音楽と人間とのかかわりあいを、できるだけ自然に音楽教育体系の中にもりこむこと、音楽史の発展過程をそのまま、子どもの成長過程の中に再体験させて行くことなどの重要性についても考えていました。

一方、私たちの国と同じような、音楽の後進性および特殊な言語（ハンガリー人はアジア人種で、ハンガリー語は日本語と同様膠着語に属す）をもつハンガリーの国情は、

〈ハンガリーの音楽文化〉へハンガリー人を育てる音楽教育〉などの表現にみられる民族性の強調という必然を生みました。

普遍的音楽教育と民族性、ともすると不協和音になりかねない、この両者を結びつけることができたハンガリーの幸運は、伝統音楽の豊饒さと、今世紀の偉大な才能バルトークとコダーイの出現にあると思われます。彼らは自国の伝統音楽に根ざした芸術作品をものして、行き悩んでいた西欧音楽に、新しい道を切り開くことができたのです。

このピラミッドの頂点を指標にもつ、コダーイ・システムの内容とは、大変ユニークなものです。

まず、幼児時代こそ、〈音楽〉のもつ〈すべて〉の基礎づけにもっとも適している時期として、保育園での音楽教育に大きな比重がおかれています。幼児たちは、すべての子どもは音楽上の母国語からはじめなければならぬという原則に基づいて、ハンガリーの遊ぎうたや民謡を教わります。そのさい、なるべく楽器は使用しないで、幼児の生理にもっともかかった〈歩く・うたう・手をたたく〉の方法で耳からうたを教えます。そして、子どものもつあそびの本能や集団の本能を生かしながら、人間本来の創造性を

みちびき出そうとするのです。

つきに、ア・カベラ（無伴奏合唱）の合唱教育と、ソルフェージュの重視も、このシステムの特徴といえます。コダーイは、みずから、数多くの子どもの方や、合唱曲をかき、音楽教育用のレパートリーを豊かにしました。

ソルフェージュは〈移動方式〉によっており、ハンド・サインやサイレント・シンキングなどの応用範囲の広い有効な手だては、それまでの諸外国の方法からもとり入れた総合的なものです。

このソルフェージュと、器楽教育との結びつきは強く、その中でも、楽器を習いはじめる前に、ソルフェージュとうたで構成される〈予備コース〉課程が実施されている点が目立っています。

ハンガリーには、一般保育園（ハンガリーの保育園は、日本の幼稚園と保育園をいっしょにした性格のもの）、一般小学校（八年制）、一般中学校（四年制）の他に、とくに歌と音楽（学）部を有するものがあり、これらをそれぞれ音楽保育園、音楽小・中学校と呼んでいます。音楽のつく系列のものは、一般と同じ教材・カリキュラムによりますが、一般のそれに比べて、音楽の授業数が多く、いず

れにせよ、コダーイ・システムによっていることに変わりはありません。

以上の課程以後は、段階的に、適性に従った音楽教育が行なわれるようになっていきます。そのためには、細かい配慮による種々のコースが設けられており、最高機関としての音楽アカデミー(リスト・アカデミー)では、音楽専門家養成されるしくみになっていきます。

このように、すべての人を基盤にして考えられたコダーイ・システムは、その音楽活動のあり方が、次第に下の方から上部へ向かって実現されてきており、その過程においては、理論や教科内容の計画よりも、むしろ実際の子どもを育てる実地から発展してきています。ですから、このような方向、体質からの要求が、全体の求心力となっていることを理解しないと、あらゆる部門が有機的につながりあいながら展開しており、しかも大変柔軟性をもっている、このシステムの真価を、見誤るおそれがあります。

音楽は批評の目的物として意図されてはいない。滋味・栄養として意図されているV——コダーイ・ゾルターン

コダーイ：あそびと教材うた

<幼児音楽教育>の講演と実技

と き……………7月27日, 28日(月・火) A.M.8.30

と ころ……………お茶の水女子大学 講堂

(国電大塚駅下車)

プログラム

|                     |              |         |
|---------------------|--------------|---------|
| ★ こどもとうた            | 前東大脳研学所長     | 時 実 利 彦 |
| ★ 幼児の才能開発           | 京都大学院教授      | 牛 島 義 友 |
| ★ 幼児の発達にもとづいた教育     | 青山学院大 助教授    | 津 守 真   |
| ★ コダーイ・システムとその生かしかた | お茶の水女子大 講師   | 加 勢 るり子 |
| ★ 実 技               | コダーイ・システム研究会 |         |

主 催……………コダーイ・システム研究会  
 渋谷区本町6-2-4 TEL 377-0740

後 援……………お茶の水女子大児童研究会  
 テキスト……………「小さい人たちのうた」「世界の子供のうた」「ピアノの学校」

会 費……………1人, 1,000円(当日受付にて)